

サイエンスカンファレンス 2025 参加／発表体験報告記

(1) 発表者情報

①氏名: 小栗百合野 ②学校／学年: 昭和薬科大学附属高校1年
③指導教員名: 富永篤

(2) 発表タイトル

核DNAを用いたオキナワシリケンイモリの
沖縄本島と離島地域の遺伝的多様性の比較

(3) サイエンスカンファレンス体験報告

参加／発表や人との交流を通して得た体験や学びに関して、以下の項目について報告してください。

①「自分が一番大切だと感じたこと」

あいまいな考察をしないということが最も大切なことだと感じました。考察したことについて審査員の方に質問されたときにはっきりしたデータを示して説明できなかつたので、そのように感じました。また、自分の中に考えとしてあるものでも、データがなかつたりしてつっこまれそうなことは極力言わない方がいいと身をもって感じました。

②参加前後で「自分が新たに理解したこと」や「自分の考えや理解で変化したこと」

私はポスター発表の時に、他の受講生にあまり声をかけられなかつたけど、声をかけられれば他の受講生に発表を聴いてもらえてもっと良かったと思いました。発表だけでなく、他の人のコミュニケーション力も大事だなと感じました。

③上記のほか、感想等

様々な大学の発表を見学することができて面白かったです。皆さん独創的なアイディアを研究として形にしていて、すごいなと思いました。
基礎知識がないと理解しがたい研究(物理学など)もあったので、私ももっと勉強を頑張ろうと思いました。

(4) 後輩へのメッセージ

自分の研究で少しでもあいまいな箇所があつたら、発表で根拠を提示して伝えられるように直しておいた方がよいです。また、他の受講生に発表見に来てと伝えられるとさらに良いと思います！